

予算常任委員会報告

3月11日、14日、15日、16日、17日 開催

委員長 平田 要

◇能勢町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

賛 否										原案可決
井上加奈子	難波希美子	長尾 義和	大西 則宏	太田 祐介	岡本ひとし	中西 顕治	中植 昭彦	奥 久明	森田 則子	平田 要
○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	委員長

注:委員長は採決に加わりません。

◇令和4年度能勢町一般会計予算

賛 否										原案可決
井上加奈子	難波希美子	長尾 義和	大西 則宏	太田 祐介	岡本ひとし	中西 顕治	中植 昭彦	奥 久明	森田 則子	平田 要
×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	委員長

注:委員長は採決に加わりません。

【反対討論】 井上 加奈子

庁舎跡地等活用に公園を含む事業計画が予算に計上されたことは、町民が要望する公園の設置に向けた第一歩であり高く評価する。

だが、開設までに年単位の時間がかかり、その間子どもたちは遊ぶ場所に不自由する。そのため、ささゆり学園の校庭と学びの丘の開放を提案しているが実現に至っていない。本来ならば開放に向けて協議し、警備・管理・人員配置の予算を計上するべきである。その上で地域住民、保護者も開放にあたり必要なことに協力し、子どもたちが元気に遊び健やかに育つ、子育てのしやすい町にしたいという思いで反対する。

【反対討論】 難波 希美子

令和4年度一般会計予算は、大筋は認めるものではあるが、2点賛成出来ない政策があり反対の討論をする。

一つ目は、高度産業化推進プロジェクトのうちの農地を潰して産業用地にする政策で、これは、能勢の魅力である里山的環境や風景、生態系を台無しにするものである。

二つ目は、これからは脱炭素時代であり、町もゼロカーボンタウンをめざすと宣言しているのにも関わらず、既存公共施設のLED化が進んでおらず、そしてガソリン車を購入することに反対するものである。

【反対討論】 奥 久明

本町は令和4年度から過疎地域となる。過疎事業債等が使用可能となるが目的は自治体が自立し人口減少と財政力不足を解消し過疎地指定解消に向け総合的かつ計画的な対応を行うものとする。

過疎地脱却には従来の事業継続では困難で、強い目的と計画を持ち情報収集も行い過疎地を脱却する予算を次年度に組むのが優先事項と考える。今回の予算は従来の事業を踏襲する予算だであった。

過疎地指定を解消し住民サービスを低下させず持続可能なまちづくりをめざすため今一度立ち止まり、しっかりとした過疎地指定脱却の予算措置を求め反対する。

【反対討論】 中植 昭彦

本年4月より本町は過疎地域に指定される。過疎地特例債を起債でき、有利な条件で資金を調達できるが、効果的な対策の実現が求められる。効果の薄い施策は監督官庁の指導を受け計画の見直しを求められる。即ち本町は待たなしの状況である。しかるに、従前の予算が計上されている。その上、コロナ対策予算や人口急減対策の、地方交付税が増額交付された予算が、2億7400万円も執行されず翌年度以降繰り越し処理し数年間の歳入不足額に充当されている。過疎地指定に対し効果的な対策や住民の暮らしを守るための予算を求め反対する。